



各国の映画を上映したり、留学した学生が現地のことを報告したり、留学生たちが日本の文化を紹介したり一緒にゲームや工作を楽しんだり、さまざまなイベントを積極的に開催しています。ネイティブスピーカーではなく、まだまだ学んでいる途中でも、互いに教え合う立場になれる自由な雰囲気です。こうしたイベントをきっかけに、グローバル・カフェに来るようになる人がたくさんいます。学生たちの輪が自然と広がり、今ではグローバル・カフェ・エスチューデント・コミッティーというチームができています。ハロウィンイベントなど、その学生たちが中心となってイベントを企画・実行することもあります。

学生たちがここに集まるのは、「自分とは異なるもの」に興味があるから。でも、ちょっと恥ずかしい…と入口の前でためらっている人をよく見かけます。そういう人々には、グローバル・カフェにいるみんなが気さくに声を掛けるんです。もともとここで友達になった人ばかりで、一番最初が一番緊張するのを知っているから、しっかりサポートする。初めての人が入ってきたら自然と自己紹介で迎え入れるし、自己紹介イベントを開催することもあります。自信がなさそうだった学生も、今は新しい来館者に「ようこそ!」と明るく声を掛けていますよ。

**対話を通して自分を見つめ  
心をオープンにしよう**

私の専門は哲学で、エコフェミニズムなどの環境哲学や子どもの哲学を中心に研究しています。いずれも「対話」を重視する分野です。自分自身の意見や問題は対話の中で整理できる、「聞く」ことがお互いにとって



留学報告イベント

重要だという姿勢は、グローバル・カフェのあり方とも共通するところがありますね。ここで出会った友達と色々な話を話し、自分の視野を広げることは、ダイバーシティへのきっかけです。最初は仲良くなることから始まりますが、交流の本当の目的は「EXPANSION(拡張)」です。グローバル・カフェは人々のバリアをなくし、自然な相互交流を通じてお互いを深く理解することができ、「対話」の場。部活ではなく、食堂や喫茶店でもない、授業とは違った自然な学びが得られるチャンスに満ちています。

私が学生たちに伝えたいことは、とにかく「Come & Try!」。自分を誰かに「Expose(公開)」することは、自分のチャンスを外に開くことでもあります。「国際」という言葉には「外側・外国」というイメージがあるかもしれませんが、日本も「国際」の一部だと体感して、豊かな国際マインドを形成してほしいです。自分をオープンにして誰かと心をシェアするきっかけが、きっとここでつかめますよ。

グローバル・カフェ教員(コーディネーター)

### Benn Johnson

ベン・ジョンソン

アメリカのノースダコタ州出身。Ph.D.(哲学)。専門は環境哲学とエコフェミニズム。子どもの哲学(P4C)の研究者であり実践者。ノーステキサス大学哲学・宗教学科卒業。同大学修士課程、博士課程修了。2022年から現職で、学生の国際交流の支援や、国際イベントの運営、専門性を生かした様々な授業を行っている。



グローバル  
カフェセンター  
のHPはこちら▶▶▶



## 対話が、こころを開いてくれる。 あたらしい自分を、ここで見つけよう

国籍も年齢も性別も関係ない! あらゆる属性を超え、多言語レッスンや異文化交流イベントを通じて自由に交流できるアクティブ・ラーニング・スペースです

# GLOBAL CAFÉ CENTER

**授業とは違った学びがある  
多国籍コミュニティ**

グローバルカフェセンターは、「国際研究支援センター」「留学生センター」とともに、香川のインターナショナルオフィスを構成する3つのセンターの一つです。2014年に開設した「イングリッシュ・カフェ」がベースにあり、当時は実践的な英語コミュニケーションを通じて留学生と日本人学生が交流を深める場でした。2019年、英語に限らない多言語・異文化交流の機会をつくり、グローバル化の進む社会で活躍する人材育成を目指して「グローバル・カフェ」に名称を変更。学内での交流だけでなく、海外留学や海外協定校との連携拠点として、地域のグローバル化に貢献するグローバル・カルナコミュニティを形成しています。

グローバル・カフェは、あらゆる属性の人たちが自由に、気軽に集える場所です。学内外のいろんな先生が英語だけではなく韓国語、中国語、スペイン語、フランス語など多国籍の言語を教えるクラスがあり、もちろん日本語を学びたい人もいます。語学のほか、



グローバルカフェセンター北側外観